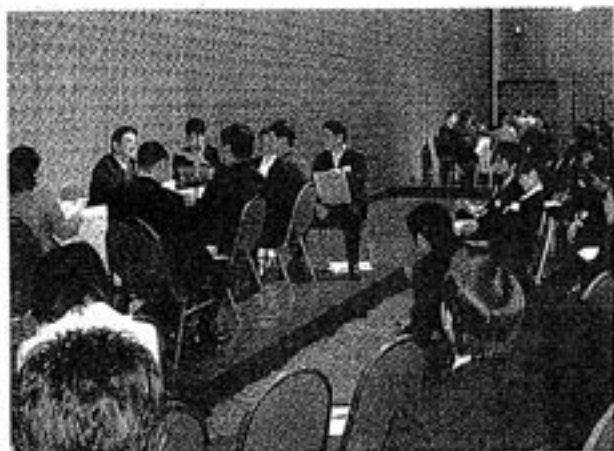


葬祭業 応対競う

福岡で初のコンテスト

全国から12業者参加



福岡市で開かれた「葬祭コーディネーターコンテスト」

家族の葬儀は済ませたものの、サービス内容や料金が納得できない。利用者からのこんな不満

ハブロックの予選を通過した男性十二人が参加。回復の見込みのない父を

な葬儀の中に「故人」の思いも取り入れた形などを提案した。

者でつくる全日本葬祭業協同組合連合会(東京都千代田区)が、加盟社の

持つ息子二人が、近親者のみで行う「家族葬」について業者に事前相談する設定で行われた。

最優秀賞に選ばれたホクセイ(三重県桑名市)の中川敬一さん(三宅)は、「心掛けているのは、お客さまの側に立った応

の全国規模の「葬祭コーディネーターコンテスト」を福岡市で開催した。コンテストには、全国

最近、家族葬を希望する人が増えている。しかし、葬儀後に死去を知らされて、参列できなかつたことに不満や困惑を感じ

まで行き届いたサービスが目標」と話していた。公正取引委員会は「適切な選択のために必要な情報が十分に提供される

ことが重要」と指摘。同連合会青年部会の金沢義和さんは「お客さまの話を十分に聞き出して認識の差を埋めることが必要でしょう」と、今後も継続していく考えを語った。